

代表者名	千葉 俊	所管部課名	産業労働部観光課
所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢93番地先	設立年月日	平成15年4月16日

**【沿革及び県の出資理由】**

魚などとの触れ合いを通じた学習の機会を提供し、県民の自然保護及び地球環境保全についての理解を深めるとともに、秋田県の観光振興を図ることを目的に県等の出資により設立された。

**【出資者】（23年度当初）** (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	51,000	51.0
男鹿市	1	31,000	31.0
民間	5	18,000	18.0
計	7	100,000	100.0

**【事業】**

**①主たる業務**

秋田県立男鹿水族館の管理運営

**②事業実績** (千人)

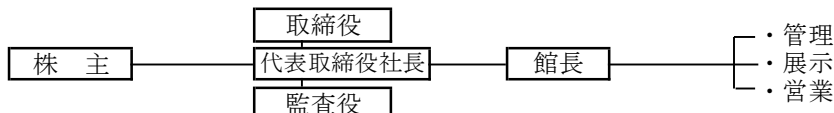
事業名等	20年度	21年度	22年度
入館者数(有料)	224	228	213

**③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標**

22年度は、来館者200万人突破、ペンギン6羽誕生、秋田市大森山動物園との連携企画など話題提供を頻繁に行うことができた。しかし、猛暑、大雪などの気象的な要因、東日本大震災の影響で20日間休館するなど事業環境は非常に厳しい年度であった。23年度は、震災の影響が十分に考えられるが、ホッキョクグマ(メス)の取得など明るい話題もあるので、積極的な情報発信を行い、リピーターの確保につなげていく。

**【組織】**

**①運営機構**



**②役員数 (H23. 7. 1現在) (人)**

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	5	1
内、県関係者	1	

**③職員数 (H23. 4. 1現在) (人)**

	人数	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
正職員	19	28.5歳	4.9年
内、県退職者			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	5	正職員平均年収	
内、県退職者		2,654千円	
計	24		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	61.5歳
平均役員報酬額	4,680千円/年

**【財務】**

**①損益状況 (22年度) (千円・税抜)**

	金額
経常収入 A	420,810
受託事業収入	92,809
水族館収入	174,693
自主事業収入	149,944
運用益収入	
その他	3,364
経常支出 B	415,777
人件費	116,259
その他	299,518
経常損益 C = A - B	5,033
経常外収入	
経常外支出・諸税	1,066
当期損益	3,967

**②財務状況 (22年度末) (千円、%)**

	金額	構成比
流動資産	216,132	91.3
固定資産等	20,578	8.7
資産計	236,710	100.0
流動負債	38,247	16.2
短期借入金		
固定負債	1,568	0.7
長期借入金		
負債計	39,815	16.8
資本金	100,000	42.2
剰余金	96,895	40.9
純資産計	196,895	83.2
負債・純資産計	236,710	100.0

(千円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

(千円、%)			
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中退共加入		%

**【県の財政支出】**

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	93,994	92,354	92,809	水族館を管理するに当たり人件費、宣伝広告費、展示生物費等を支出
貸付残高				

## 1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	86.51	81.08	83.18	▲ 5.43	2.10
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	731.79	504.88	565.10	▲ 226.91	60.22
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	83,151	92,928	96,895	9,777	3,967
	経常利益率	%	0.08	3.59	1.20	3.51	▲ 2.39
	総資本利益率	%	0.16	6.73	2.13	6.57	▲ 4.60
発展性	経常収入額	千円	422,720	445,339	420,810	22,619	▲ 24,529
効率性	総資本回転率		2.00	1.87	1.78	▲ 0.13	▲ 0.09
	職員1人当たり経常収入	千円	14,091	13,917	13,150	▲ 174	▲ 767
	人件費比率	%	27.60	25.45	27.63	▲ 2.15	2.18

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	当期利益 (千円)	目標	2,566	2,599	2,210	500
		実績	82	9,777	3,967	
事業成果指標	売上高人件費率 (%)	目標	27	28	29	31
		実績	28	26	28	
事業成果指標	入館者数 (千人)	目標	253	243	223	210
		実績	224	228	213	
事業成果指標	売上高 (千円)	目標	365,119	356,499	340,129	303,321
		実績	323,304	348,999	324,637	
顧客満足度	顧客満足度指数	目標	85	88	88	88
		実績	86	87	87	

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

来館者が213千人と、目標より10千人程度減少したが、経費の圧縮などにより目標として設定していた当期利益を達成することができた。

また、開館以来の繰越利益剰余金が96,895千円となるなど、経営状態は安定してきている。

しかし、今後の電気、燃料などの価格上昇や、県外利用者や、団体利用者の落ち込みなど震災による影響など、不安要素も少なくないので経費の抑制などで安定的な経営を目指して運営していく。

〈顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組〉

- ・レストラン営業時間の延長 (繁忙期)
- ・館内イベントの充実、展示要領の改善による顧客満足度の向上

## 4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・天候不順並びに東日本大震災の影響により、有料来館者数は前年度の93%にとどまり、経常収入は24百万円減少した。売上原価及び販売費及び一般管理費の減少により経常利益は10百万円の減少となった。東日本大震災による来館者数の減少を最小限にとどめるため、より一層の経費管理を行うことが求められる。</p>	